

# 地域ケア推進会議 報告書

## 【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2024年1月25日
作成 高齢者支援センター	鶴川第2
作成者	鈴木 智明

1.開催日時	2024年1月11日	(木)	19:00	～	20:30
2.会場	オンライン				
3.主催センター	鶴2	・	鶴1	・	
4.参加人数	30人				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 7人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 2人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 6人 (うち、医師 人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 11人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人		<input type="checkbox"/> 老人会 人		<input type="checkbox"/> 住民 人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人		<input type="checkbox"/> 警察 人		<input checked="" type="checkbox"/> 行政 3人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 医薬卸 1人 )				
6.開催テーマ	「大災害発生！オール鶴川で乗り切るために私たちにできることは？」				
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>鶴川圏域の地区別人口動態から、圏域の人口推移について確認すると、高齢者数、高齢化率共に上昇傾向にある。独居や社会的孤立により、医療や介護保険でのサービスを利用する事により生活が行えている地域住民が多く存在している。</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <p>鶴川地区には災害時の医療拠点が少なく、災害発生時の避難宿泊施設も13か所である。その中で、災害発生時に医療や介護サービスを各事業所は速やかに提供できる体制整備が必要とされるが、各事業所とも体制整備に繋がるBCP策定に現状苦慮している。各事業所においてBCP策定と共に、他事業所との連携体制の構築を進める事により、災害発生時でも市民へ早期のサービス再開を図る為の体制整備が求められる。</p>				
8.会議の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・12月の鶴川圏域地域ケア推進会議栄養部会フレイル予防レシピ配布状況の共有。</li> <li>・11/24の圏域合同地域ケア推進会議の振り返りを行う。グループワークで出た意見やアンケート結果の共有、開催報告を兼ねて地域向けに発行している「レッツ！ケア会議」の内容、録画内容の公開方法について協議。今回のケア会議で、専門職によって災害時の動きが異なることについて共有が出来た。</li> <li>・2024年度も継続して災害・防災について取り組んでいくこととなり、次年度どのように取り組むのかを協議。「自助努力、業、地区社協での取り組み、多職種の連携の在り方を考える」「間口を広げて、地域の方や消防も巻き込みながらの周知」「地区社協が取り組んでいる防災活動状況の共有」などの意見があがった。</li> </ul>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>鶴川地区に関わる医療と介護の専門職を参集し、災害時の立場の違いについて共有することが出来た。鶴川地区住民にも災害に向けた取り組みを周知していくために、先ずすでに地域の中で活動をしている地区社協の取り組みを知り、地域や各所属団体、事業所でどのように、何に取り組むことが出来るのか、今後の展開について検討を行う。</p>				
10.その他	<p>介護職で構成する「災害時連絡名簿検討部会」では、利用者リストの作成、利用者の緊急性の把握をしておくことなど、ある程度の方向性を見出すことが出来た。</p>				

医療と介護の連携支援センター 確認日	1月25日
--------------------	-------